

# 取扱説明書



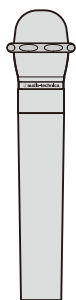
## UHFワイレスアンプシステム ATW-SP717M

お買い上げありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

### ATW-SP717M システム内容



ワイレスアンプ  
ATW-SP717M



ワイレスマイクロホン  
ATW-T705

#### 拡張システム 用途に合わせてお選びください。

|                           |               |
|---------------------------|---------------|
| ワイレスマイクロホン (ハンドヘルドタイプ)    |               |
| ATW-T705/P                | ¥40,000. (税抜) |
| ワイレストランスミッター              |               |
| ATW-T107/P                | ¥23,000. (税抜) |
| ワイレスレシーバー                 |               |
| ATW-R103/P                | ¥36,000. (税抜) |
| ラベリアマイクロホン (クリップタイプ)      |               |
| AT829H/P                  | ¥8,000. (税抜)  |
| ヘッドウォーンマイクロホン (ヘッドセットタイプ) |               |
| PRO8HEW/P                 | ¥8,000. (税抜)  |
| キャリーバッグ                   |               |
| CBG-1                     | ¥11,000. (税抜) |
| マイクホルダー                   |               |
| AT8456a                   | ¥1,500. (税抜)  |

別売：単2形アルカリ乾電池×8本 (ワイレスアンプ用)、単3形アルカリ乾電池×2本 (ワイレスマイクロホン用)

### 開封の際に

ワイレスマイクロホンATW-T705は、ワイレスアンプATW-SP717M背面の、リアカバー内マイクロホン収納ボックスに入っています。※周波数は1のポジションになっています。

## 特長

- 外来ノイズの影響に強いUHF800MHz帯ワイレスアンプシステム
- 最大出力23W(AC電源使用時)を誇るスピーカー/レシーバー/アンプの一体型で、学校や講演、ビジネスシーンにも最適
- ワイレスアンプはAC100V/単2形アルカリ乾電池の2ウェイ電源を採用し、屋内外を問わず使用できる
- ワイレスマイク1系統/有線マイク3系統、ステレオライン1系統で最大5系統のミキシングに対応
- ミキサー回路の最適設計により広大なダイナミックレンジと低ノイズ化を実現
- それぞれの入力系統に音質/音量調整機能を装備
- 周波数の切り換えスイッチ付きで状況に合わせて設定可能
- アンプ背面にマイクロホン収納ボックスを用意
- 持ち運びに便利なハンドル付き

### 目次

|                       |         |
|-----------------------|---------|
| 安全上の注意                | 2～3 ページ |
| 各部の名称と機能              | 4～8 ページ |
| 乾電池の入れかた [ワイレスアンプ]    | 8 ページ   |
| 乾電池の入れかた [ワイレスマイクロホン] | 9 ページ   |
| マイクホルダーの使いかた          | 9 ページ   |
| 接続のしかた                | 9 ページ   |
| 使いかた                  | 10 ページ  |
| 複数のワイレスシステムを使用するには    | 10 ページ  |
| 故障かな?と思ったら            | 11 ページ  |
| 外形寸法図                 | 11 ページ  |
| テクニカルデータ              | 裏表紙     |

## 安全上の注意

本製品は安全性には充分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

### ⚠ 危険

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。

### ⚠ 警告

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

### ⚠ 注意

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

## ワイヤレスアンプ [ ATW-SP717M ] について

### ⚠ 警告

- AC100V以外の電源には使用しない(日本国内専用)  
加熱による火災など事故の原因になります。
- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない  
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店が当社のサービスセンターに連絡してください。  
そのまま使用すると、火災などの事故の原因になります。
- コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- コンセントを差し込むときは根元まで確実に差し込む  
過熱による火災など事故の原因になります。
- コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする  
断線、故障の原因になります。
- コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない  
断線、故障の原因になります。
- 分解や改造はしない  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない  
感電によるけがの恐れがあります。
- 火気に近づけない  
変形、故障の原因になります。
- 布などでおおわない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る  
過熱による火災など事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない  
変形、故障の原因になります。

### ⚠ 注意

- 長時間使用しないときは、コンセントから抜く  
省エネルギーにご配慮ください。
- 足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない  
故障や事故の原因になることがあります。
- 不安定な場所に設置しない  
転倒などにより、けがや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所、結露する環境に置かない  
故障、不具合の原因になります。
- アンテナはゆっくりと立てる  
急に立てると破損したり、けがの原因になります。
- 持ち運びの際は、ハンドルをしっかり握る  
足元などに落とすと、けがの原因になります。
- ハンドルを持って振り回さない  
ベルトが外れて、けがや故障の原因になります。

## ワイヤレスマイクロホン [ ATW-T705 ] について

### ⚠ 警告

ATW-T705は(財)テレコムエンジニアリングセンター(TELEC)の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務大臣の許可なしに改造、または証明ラベルをはがして使うことはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない  
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、電源を切り、お買い上げの販売店が当社のサービスセンターに連絡してください。  
そのまま使用すると、火災などの事故の原因になります。
- 分解や改造はしない  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない  
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない  
感電によるけがの恐れがあります。
- 火気に近づけない  
変形、故障の原因になります。
- 布などでおおわない  
過熱による火災など事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない  
変形、故障の原因になります。

### ⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない  
故障、不具合の原因になります。
- 振り回さない  
手から外れて、けがや故障の原因になります。

## 電池について

|      |                                                        |
|------|--------------------------------------------------------|
| 指定電池 | ATW-SP717M：単2形アルカリ乾電池 × 8本<br>ATW-T705：単3形アルカリ乾電池 × 2本 |
|------|--------------------------------------------------------|

※指定電池以外使用しないでください。  
※マンガン乾電池・充電式電池は使用できません。

### ⚠ 危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない  
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。

### ⚠ 警告

- 火の中に入れない、加熱、分解、改造しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 極性通りに入れる  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 液漏れした電池はすぐに取り出し、液は素手でさわらない  
・幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。  
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。  
・皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- 硬貨やカギなど金属製のものと一緒に場所に置いたり、電池の+とーを接続しない  
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 乾電池は充電しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使い切った電池はすぐに取り出す  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す  
液漏れによる故障の原因になります。

### ⚠ 注意

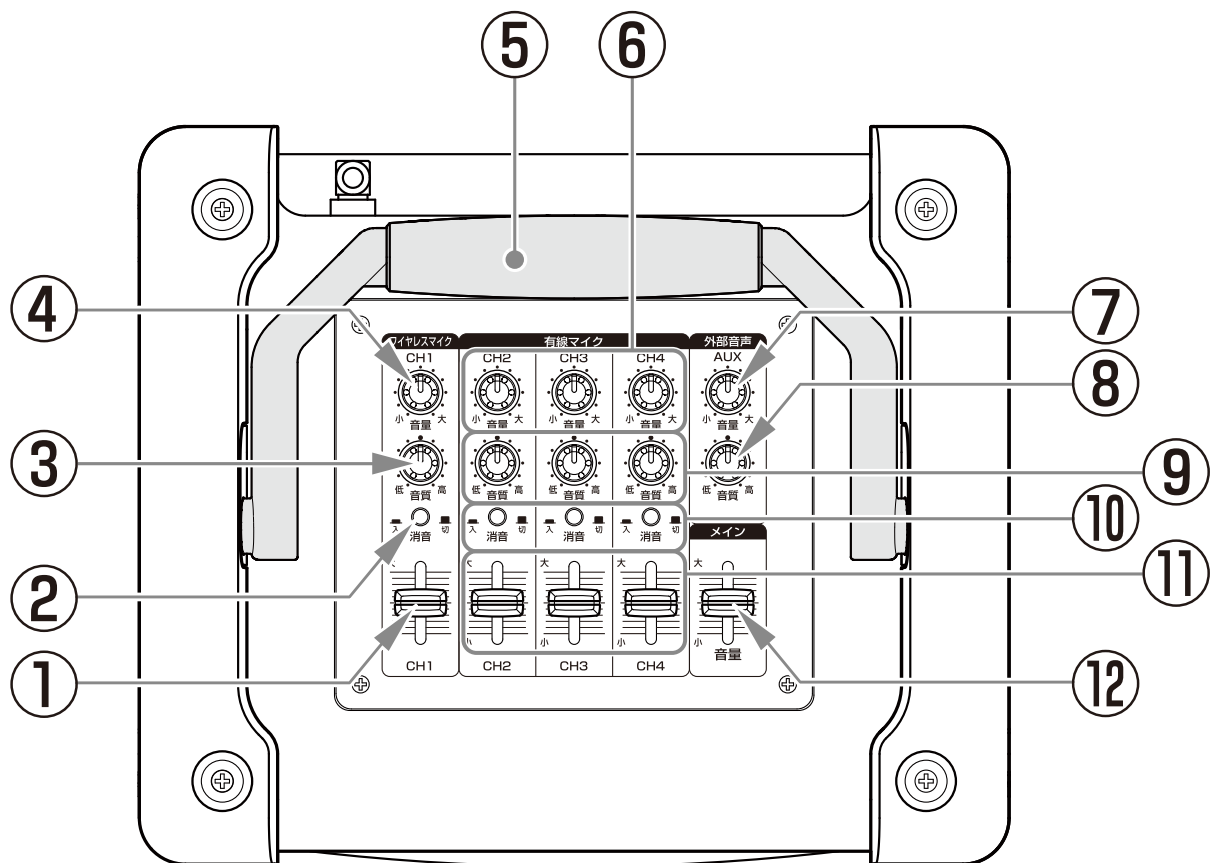
- 外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない  
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 落下させたり強い衝撃を与えない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 変形させたりハンダ付けしない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない  
・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所  
・炎天下の車内  
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 保管、廃棄の場合は端子部をテープなどで絶縁する  
液漏れ、発熱、破裂の原因となります。
- 水に濡らさない  
発熱の原因になります。
- 指定の電池以外使用しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する  
環境保全に配慮してください。

## 使用上の注意

- ワイヤレスシステムは自動車のスパークノイズ、照明調光装置、コンピューター、OA機器、電子楽器などの影響を受ける場合があります。影響を受けにくい位置に設置して使用してください。
- 本製品のワイヤレスシステムは標準規格に基づいて製造されておりますが、他社メーカーとの組み合わせは使用できません。
- ワイヤレスマイクロホンに使われているUHF帯の電波の特性は波長が短く直進性が強いので、マイクロホンとレシーバー間に障害物があると音切れの原因となる場合があります。直視できるような位置関係で使用してください。

## 各部の名称と機能

ワイヤレスアンプ ATW-SP717M トップパネル(上面)



## 各部の名称と機能

### ワイヤレスアンプ ATW-SP717M トップパネル(上面)

#### ① ワイヤレスマイク 出力レベルボリューム

ワイヤレスマイクロホンの出力信号の音量を調整します。※1

#### ⑨ 有線マイク 音質コントロール(高・低)

各チャンネルに対応した有線マイクの音質(高音域・低音域バランス)をコントロールします。※3

#### ② ワイヤレスマイク 消音スイッチ

ワイヤレスマイクロホンの音声を消音します。※2

#### ⑩ 有線マイク 消音スイッチ

有線マイクの音声を消音します。※2

#### ③ ワイヤレスマイク 音質コントロール(高・低)

ワイヤレスマイクロホンの音質(高音域・低音域バランス)をコントロールします。※3

#### ⑪ 有線マイク 出力レベルボリューム

各チャンネルに対応した有線マイクの出力信号の音量を調整します。※1

#### ④ ワイヤレスマイク 入力レベルボリューム

ワイヤレスマイクロホンの入力信号の音量を調整します。※4

#### ⑫ メイン ボリューム

スピーカーから出力される主音量を調整します。※1

#### ⑤ 持ち運び用ハンドル

持ち運びの際に立てて使用してください。それ以外の場合は、本製品のフロント側・リア側のどちらかに倒し、収納してください。

#### ※1

つまみを「大」の方向にスライドさせると音量が大きくなり、「小」方向にスライドさせると音量が小さくなります。

#### ⑥ 有線マイク 入力レベルボリューム

各チャンネルに対応した有線マイクの入力信号の音量を調整します。※4

#### ※2

スイッチを押し込むと「入」になり、消音機能が働きます。もう一度押すと「切」になり、消音機能が解除されます。

#### ⑦ 外部音声 入力レベルボリューム

ポータブルCDプレーヤーなどの外部機器の入力信号の音量を調整します。※4

#### ※3

つまみを「高」の方向に回すと高音域が強調され、「低」の方向に回すと低音域が強調されます。センター位置にすることによって、音質がフラットな状態になります。

#### ⑧ 外部音声 音質コントロール(高・低)

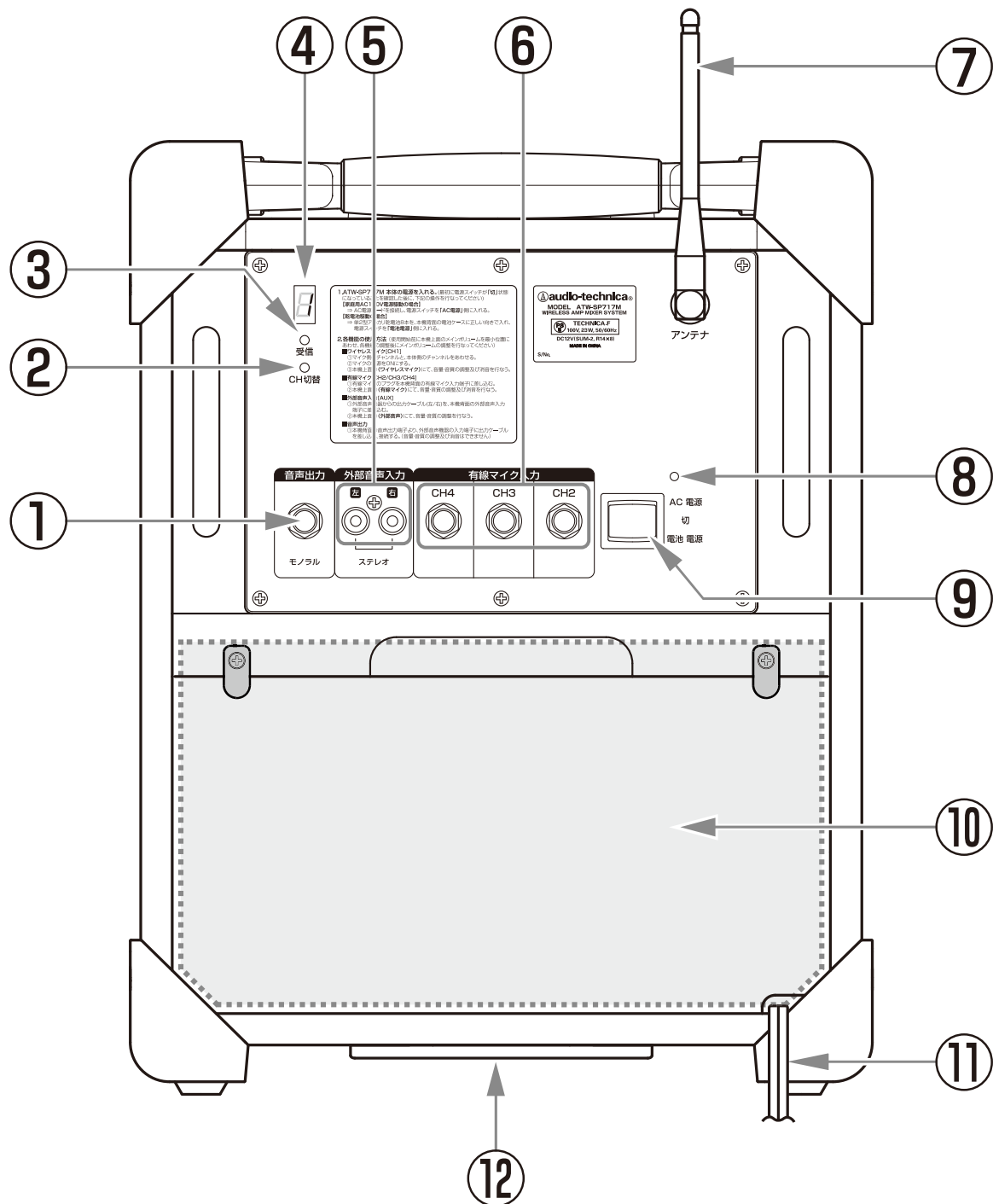
ポータブルCDプレーヤーなどの外部機器の音質(高音域・低音域バランス)をコントロールします。※3

#### ※4

つまみを「大」の方向に回すと音量が大きくなり、「小」の方向に回すと音量が小さくなります。

## 各部の名称と機能

ワイヤレスアンプ ATW-SP717M リアパネル(背面)



## 各部の名称と機能

### ワイヤレスアンプ ATW-SP717M リアパネル(背面)

#### ① 音声出力端子(モノラル)

本製品の音を録音したい場合などに使用します。  
φ6.3mmモノラル標準プラグケーブルを差し込み、  
外部機器のライン入力へ接続します。

#### ② 周波数切り替えスイッチ

受信チャンネルを切り替えます。押すと1～6までの  
範囲で、順方向でチャンネルが切り換わります。

\*出荷時の設定は1になっています。

#### ③ 受信インジケーター

ワイヤレスマイクロホンからの電波を受信すると黄色  
に点灯します。

#### ④ チャンネル表示窓

現在設定されている受信チャンネルを表示します。

#### ⑤ 外部音声入力端子(ステレオ)

ポータブルプレーヤーやCDプレーヤーなどの外部機器  
のライン出力から接続します。  
端子形状はRCA型ピンジャックです。  
出力はモノラルになります。

#### ⑥ 有線マイク入力端子

有線マイクを接続するφ6.3mmモノラル標準ジャックです。

#### ⑦ アンテナ

ワイヤレスマイクロホン使用時は必ず立てて使用して  
ください。また、未使用時は必ず倒してください。

#### ⑧ 電源インジケーター

乾電池およびAC100V電源が供給されると青色に  
点灯します。

#### ⑨ 電源スイッチ

「AC 電源」側に倒すとAC100Vより電源が供給され、  
「電池 電源」側に倒すと乾電池から電源が供給されます。  
「切」にすると電源は切れます。

\*出荷時は「切」の状態になっています。

#### ⑩ リアカバー/カバー固定止め金

固定止め金を回転させるとリアカバーを本体より  
外せます。

※詳細は8ページの「乾電池の入れかた[ワイヤレスアンプ]」  
を参照ください

●電池ケース：単2形アルカリ乾電池を8本収納します。

●マイクロホン収納ボックス

：専用ワイヤレスマイクロホンを使用しないときに、  
収納しておくことが可能です。

#### ⑪ AC電源コード(コード長 2m)

家庭用100V、50/60Hzを使用してください。

#### ⑫ スタンド取り付け穴

φ38mm対応の市販スピーカースタンドを使用する  
場合の取り付け穴です。

#### ⚠ 注意

使用中の転倒などの事故を防ぐため、使用する  
スピーカースタンドの取扱説明書を必ずお読みください。

各ケーブルの接続方法に関しては、9ページの  
「接続のしかた」を参照ください。

## 各部の名称と機能

### ワイヤレスマイクロホン ATW-T705

#### ① ヘッドケース

#### ② ゴムリング

マイクロホンの転がり防止用ゴムリングです。取り外しも可能です。

#### ③ 電源スイッチ

オンにすると電源が入り、電波が発信されます。オフにすると切れます。

#### ④ パワーインジケーター

電池の状態を表示するインジケーターです。電源スイッチをONにするとグリーンに常時点灯します。インジケーターがレッド、又は点灯しないときは電池を交換してください。

#### ⑤ チャンネル切り替えスイッチ

1～6の6つのチャンネルに切り替えられます。

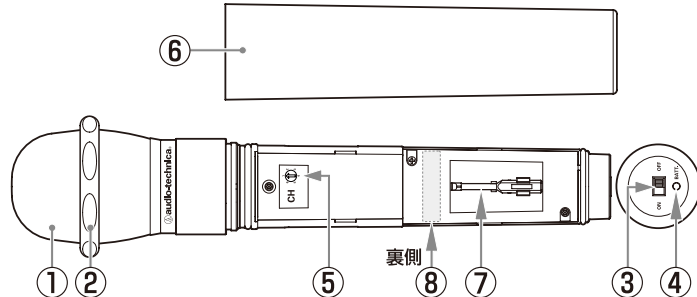
※電源スイッチがOFFの状態で切り替えをしてください。

ONの状態で設定を変更しても周波数は切り替わりません。

※ONのまま設定した場合、一度OFFにして2秒後にONにしてください。

※切り替え時は、本体に収納されているドライバーを使用してください。

⑥



#### ⑥ グリップ

電池交換の時、反時計方向に回して外します。

#### ⑦ ドライバー

チャンネルの切り替え時に使用します。

※紛失に注意してください。

※使用時以外は元の場所に収納してください。

#### ⑧ 技術基準適合証明ラベル

電波法により定められた技術基準に適合していることを証明するラベルです。このラベルをはがすことは電波法により禁じられており、罰せられます。

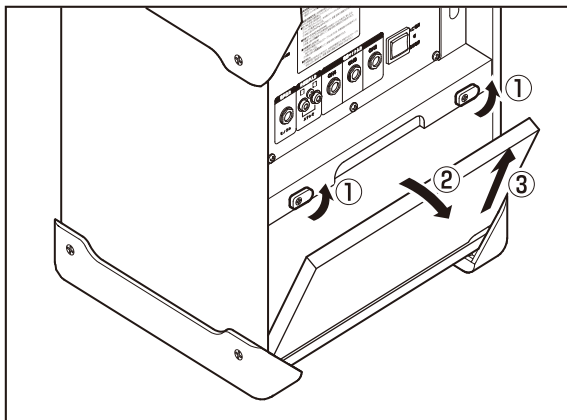
## 乾電池の入れかた [ ワイヤレスアンプ ]

1. ワイヤレスアンプの電源スイッチを「切」にします。  
(6～7ページの「各部の名称と機能」を参照してください)

2. リアカバーを外します。

カバー固定止め金(2ヶ所)を回転させ、リアカバーを外します。

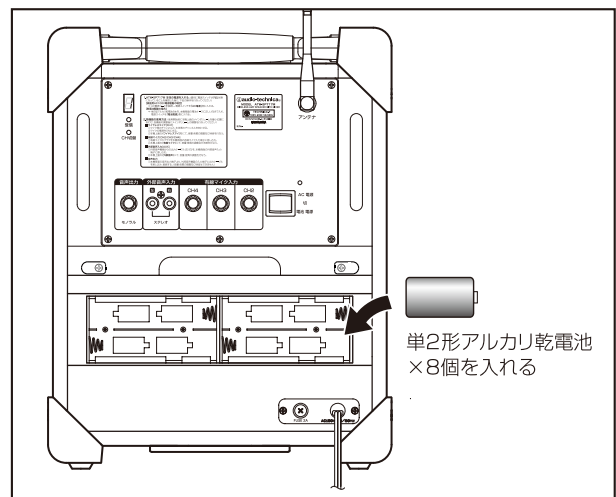
\* 図の矢印の順番でリアカバーを取り外してください。



3. 市販の単2形アルカリ乾電池8本をケース内の極性表示に合わせて入れます。

※ 乾電池は必ずアルカリ乾電池を使用してください。

※ 乾電池の向きを正しく入れないと、液漏れや発熱が起こり、主要部分を破損する恐れがあります。



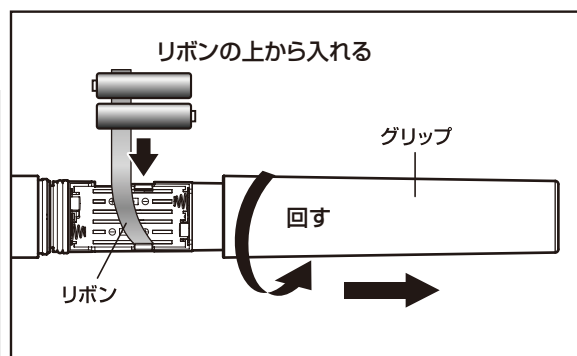
4. リアカバーを外す順番と逆にして取り付け、最後にカバー固定止め金(2ヶ所)で閉じて完了です。

※ 使用中に電池残量がなくなると、本製品(リアパネル)の電源インジケーター(青色)が消灯します。そのまま使用すると音切れ・ノイズ音などの症状が発生し、最終的に音が出なくなりますので、すべて新しい乾電池に交換してください。

## 乾電池の入れかた [ ワイヤレスマイクロホン ]

1. マイクロホンの電源を**オフ**にします。
2. グリップを反時計方向に回して外します。
3. 市販の単3形アルカリ乾電池を2本、ケース内の向きに合わせて入れます。

- ※ 電池は脱着防止、接触不良防止のために外れにくくなっております。
- ※ リボンを下に通して、その上から電池を入れてください。
- ※ 使用中の電池端子の接触不良による音切れ防止のため、電池は外れにくくなっています。  
電池を取り出す際には、リボンの先端を持ち、電池を下から持ち上げるようにして外してください。
- ※ 電池は必ずアルカリ乾電池を使用してください。
- ※ 電池の向きを正しく入れないと故障する恐れがあります。



4. グリップを取り付けて完了です。

## マイクホルダーの使いかた

本製品のマイクロホンをスタンドで使用する場合には、別売のマイクホルダー(AT8456a ¥1,500(税抜))を使用してください。

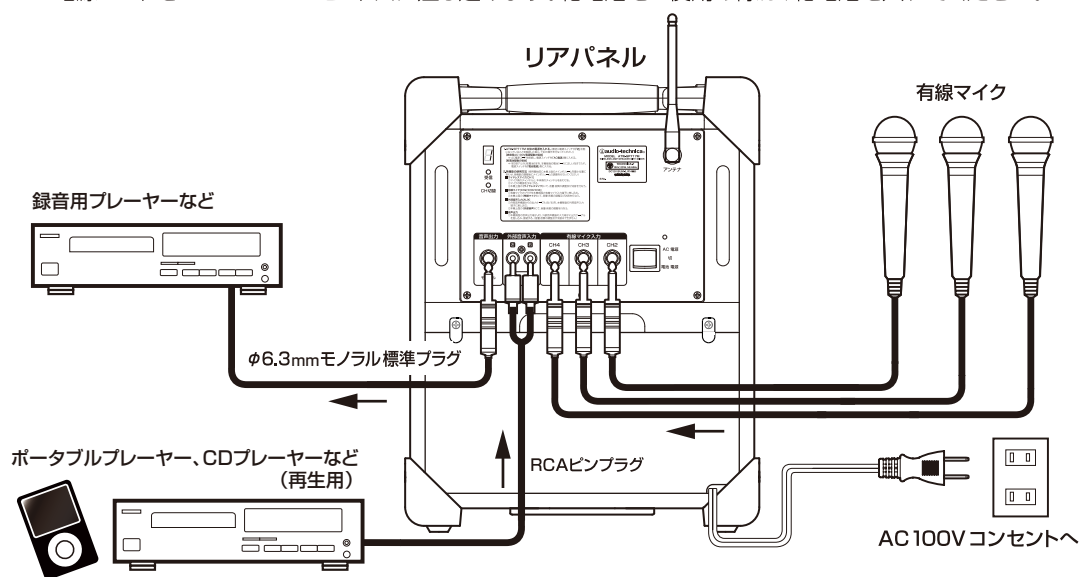
- ※ ほかのマイクホルダーを使用した場合、マイクロホンがしっかり保持できず、落下するなど、故障の原因となります。
- ※ マイクスタンドはネジ径5/8インチのタイプを使用してください。
- ※ マイクホルダーにマイクロホンを取り付ける際は、マイクロホン本体の電源スイッチを上側にしてください。

## 接続のしかた

※ 接続機器の取扱説明書をあわせてお読みください。

接続の前に本製品の電源を「切」状態にして、音量ボリュームを全て最小にし、音質コントロールはセンターポジションにしてください。また、接続機器の電源も「切」状態にして、音量ボリュームを必ず最小にしてから接続してください。

1. 有線マイクを、有線マイク入力端子に接続します。  
\* 接続するマイクの端子がφ3.5mmプラグの場合、別売のケーブルまたは変換プラグをご使用ください。  
\* プラグインパワー専用マイクは使用できません。
2. ポータブルプレーヤーやCDプレーヤーなどを本製品(リアパネル)の外部音声入力端子へ、録音用プレーヤーなどを音声出力端子へ接続します。
3. AC電源コードをAC100Vコンセント口に差し込みます。乾電池をご使用の際は、乾電池を入れてください。



## 使いかた

\* 接続機器の取扱説明書をあわせてお読みください。

1. アンテナを立てます。
2. ワイヤレスマイクロホン(以下マイク)に電池を入れます。
3. 本製品の電源の「切」状態と、メインボリューム(トップパネル)が最小位置になっているかを確認します。
4. 電源プラグをコンセント口に差し込みます。もしくは乾電池を入れます。  
(「接続のしかた」もしくは8ページの「乾電池の入れかた[ ワイヤレスアンプ ]」を参照してください)
5. 本製品の電源を入れます。
6. 本製品のチャンネルとマイクのチャンネルを合わせます。
7. マイクの電源スイッチをON側にすると本製品(リアパネル)の受信インジケーターが点灯(黄色)します。
8. メイン以外の本製品(トップパネル)の音量ボリュームを上げ調整します。
9. 音に歪みがないよう本製品(トップパネル)のメインボリュームを上げ、出力を調整します。

\* ワイヤレスアンプとワイヤレスマイクロホンは2m以上離し、近づけない状態で使用してください。

\* 複数のワイヤレスマイクロホンを使用される場合は、下記の「複数のワイヤレスシステムを使用するには」を参照ください。

## お手入れのしかた

- 汚れたときやほこりが付いたときは、電源プラグを抜いてから乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ベンジン、シンナーは使用しないでください。コンセント部やプラグ部に接点復活保護液を使用しないでください。

## 複数のワイヤレスシステムを使用するには

複数でご使用の際は、各々異なった周波数で使用してください。

同一の周波数で複数のワイヤレスマイクロホンを使用することはできません。1つの周波数に対してワイヤレスマイクロホンは1本としてください。

\* 本製品1台につき1本のワイヤレスマイクロホンが使用可能です。

\* 当社モデルの**ATW-SP77、ATW-SP88、ATW-T70、ATW-T17J、ATW-R13**をお持ちの方は、右表の周波数表示(B11～B16)をご参照のうえ、チャンネルを合わせて使用してください。それ以外のワイヤレスマイクロホンは周波数が一致していても使用できません。

\* 他のワイヤレスシステムの電波が混信する場合、周波数の設定を見直してください。

| 本体表示 | 周波数              |
|------|------------------|
| 1    | B11 : 806.125MHz |
| 2    | B12 : 806.375MHz |
| 3    | B13 : 807.125MHz |
| 4    | B14 : 807.750MHz |
| 5    | B15 : 809.000MHz |
| 6    | B16 : 809.500MHz |

## 使用上の注意

- 同一場所で複数のワイヤレスマイクロホンを使用する場合、必ず各チャンネルごとに異なった周波数セットで使用してください。
- ワイヤレスマイクロホンとワイヤレスアンプは2m以上、またワイヤレスマイクロホン同士は2m以上離し、近づけない状態で使用してください。
- ワイヤレスマイクロホンシステムの周波数は、電波法で定められています。お近くの別の場所で同じ周波数のワイヤレスマイクロホンシステムが使用されている場合、混信してノイズが入りますので、周波数を切り換えて使用するか、電源を切って使用を中止してください。

## 故障かな?と思ったら

### ワイヤレスアンプの電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから外れていませんか?
- 乾電池使用の場合、乾電池は入っていますか? また、使用している乾電池の残量がなくなっていないですか?
- 電源スイッチが駆動方法にあわせた位置に入っていますか? [AC電源 / 電池電源]
- ⇒ 8ページの「乾電池の入れかた[ワイヤレスアンプ]」と9ページの「接続のしかた」を参照ください。

### 音が出ない

- 本製品の入力/出力レベルボリューム、またはメインボリュームが最小位置になっていませんか?
- マイクロホンの電源がOFFになっていませんか?
- ワイヤレスマイクホンと本製品のチャンネルが合っていますか?
- 有線マイクのプラグがマイク入力端子から外れていませんか?
- 本製品の消音スイッチが「入」になっていませんか?
- ⇒ 4～8ページの「各部の名称と機能」と10ページの「使いかた」を参照ください。

### ノイズが出る

- 各ケーブルは確実に機器に接続されていますか?
- ワイヤレスアンプのそばに蛍光灯や電気器具などのノイズ発生源はありませんか?
- 同じ周波数のワイヤレスマイクホンを同時使用していませんか?
- 近くで同じ周波数帯(800MHz帯)のワイヤレスシステムを使用していませんか?
- ⇒ 10ページの「使いかた」と「複数のワイヤレスシステムを使用するには」を参照ください。

### ワイヤレスアンプが受信しない、電波の到達距離が短い

- アンテナを立てていますか?
- ワイヤレスマイクホンと本製品のチャンネルが合っていますか?
- ⇒ 4～8ページの「各部の名称と機能」と10ページの「複数のワイヤレスシステムを使用するには」を参照ください。
- 本製品およびワイヤレスマイクホンの電池残量がなくなっていないですか?
- ⇒ 8ページの「乾電池の入れかた[ワイヤレスアンプ]」と9ページの「乾電池の入れかた[ワイヤレスマイクホン]」を参照ください。

### 外部接続機器の音が出ない

- 接続機器のプラグが外部音声入力端子から外れていませんか?
- 接続した機器は再生モードになっていますか?
- 接続した機器のボリュームが最小位置になっていませんか?
- ⇒ 9ページの「接続のしかた」を参照ください。

### 音が割れる

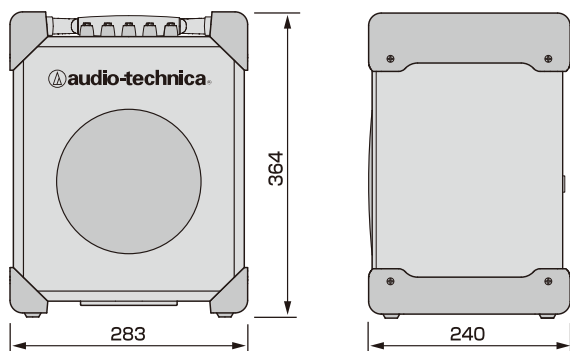
- 入力信号が大きすぎませんか?
- ⇒ 本製品の入力/出力レベルボリュームを調整し、音量を下げてください。

### 音が小さい

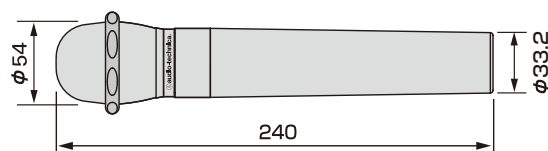
- 入力信号が小さすぎませんか?
- ⇒ 本製品の入力/出力レベルボリュームを調整し、音量を上げてください。

## 外形寸法図 (単位: mm)

ATW-SP717M



ATW-T705



## テクニカルデータ

### システム総合特性

|       |                                                                                                                               |        |               |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------|
| 受信周波数 | : 1 (806.125MHz)<br>2 (806.375MHz)<br>3 (807.125MHz)<br>4 (807.750MHz)<br>5 (809.000MHz)<br>6 (809.500MHz)<br>の6波から1波をスイッチで選択 | 周波数特性  | : 100Hz～15kHz |
|       |                                                                                                                               | 使用温度範囲 | : 5℃～40℃      |

### ワイヤレスアンプ ATW-SP717M

|               |                                                    |                 |                                                   |
|---------------|----------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------|
| 電源            | : AC100V、50/60Hz または<br>単2形アルカリ乾電池×8本              | 〈アンプ部〉          |                                                   |
| ヒューズ          | : 250V、2A                                          | 実用最大出力(AC電源使用時) | : 23 W                                            |
| 消費電力          | : 23W                                              | 実用最大出力(電池使用時)   | : 13 W                                            |
| 電池寿命          | : 約3時間(アルカリ乾電池使用時)                                 | SN比             | : 65dB (外部音声入力端子)                                 |
| 外形寸法          | : H364×W283×D240mm                                 | 〈ミキサー部〉         |                                                   |
| 質量(電池除く)      | : 約7.9kg                                           | 入力インピーダンス       | : MIC (CH2・CH3・CH4) 6.8kΩ<br>外部音声入力端子 22kΩ        |
| 対応スピーカースタンド径  | : φ38mm                                            | 定格入力            | : MIC (CH2・CH3・CH4) = -44dBV<br>外部音声入力端子 = -10dBV |
| 〈ワイヤレスレシーバー部〉 |                                                    | 出力インピーダンス       | : 音声出力端子 1kΩ<br>音声出力端子 = -10dBV                   |
| 受信方式          | : ダブルスーパーヘテロダイン方式<br>1st IF 45MHz / 2nd IF 10.7MHz | 定格出力            |                                                   |
| 局部発振方式        | : 水晶制御PLLシンセサイザー                                   | 〈スピーカー部〉        |                                                   |
| 受信感度          | : 21dBμ (SN比: 60dB JIS-A<br>聴感補正、周波数偏移±10kHz)      | 形式              | : バスレフ型                                           |
| 歪率            | : 1%以下                                             | スピーカーユニット       | : 16cmフルレンジコーン                                    |
| 出力レベル         | : 4.5 dBV (音声出力端子)<br>(±10kHz 周波数偏移 1kHz)          | 周波数帯域           | : 70Hz～20kHz                                      |
| アンテナ          | : 1/4λヘリカルアンテナ                                     | 最大許容入力 (JEITA)  | : 100W                                            |
|               |                                                    | 定格入力 (JEITA)    | : 50W                                             |
|               |                                                    | 出力音圧レベル         | : 88dB                                            |

### ワイヤレスマイクロホン ATW-T705

|        |                       |          |                       |
|--------|-----------------------|----------|-----------------------|
| 形式     | : ダイナミック型             | 送信周波数安定度 | : 20ppm 以下            |
| 指向特性   | : 単一指向性 (ハイパーカーディオイド) | 不要輻射     | : 2.5μW 以下            |
| アンテナ形式 | : 内蔵アンテナ              | 基準周波数偏移  | : ±5kHz               |
| 周波数特性  | : 100～15,000Hz        | 最大周波数偏移  | : ±15kHz              |
| 発振方式   | : 水晶制御PLLシンセサイザー      | 電源電圧     | : DC3V (単3形アルカリ乾電池×2) |
| 電波形式   | : F3E                 | 電池寿命     | : 約8時間(アルカリ電池使用時)     |
| トーン信号  | : 32.768kHz           | 外形寸法     | : φ54×240mm           |
| 空中線電力  | : 10mW                | 質量(電池除く) | : 約275g               |

(改良などのため予告なく変更することがあります。)

#### お問い合わせ(電話受付/平日9:00～17:30)

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

#### ●相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417

(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)

FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp

#### ●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416

(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)

FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

#### ●ホームページ (サポート)

www.audio-technica.co.jp/atj/support/

#### アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

#### 株式会社 オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市成瀬2206

http://www.audio-technica.co.jp

232304450